

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年3月6日

計画の名称	18. (上越市) 道路構造物の適確な維持管理による安全・安心な上越の「みち」		
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)	交付対象	上越市
計画の目標	安全で良好な道路サービスを提供するため、老朽化する道路構造物を適確に維持管理することにより、誰もが安心して生活できる持続可能な道路(みち)を目指す。		

計画の成果目標 (定量的指標)	橋梁長寿命化計画に基づく橋梁補修の完了率を100%とする。 橋梁長寿命化計画(平成24年度策定「上越市橋梁長寿命化修繕計画」)に基づく老朽化対策が必要な施設(橋梁)に対し、対策を実施した割合を向上させる。(完了率100%) 耐震対策が必要な施設(橋梁)に対し、対策を実施した割合を向上させる。(完了率100%)		
-----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H29末)							
① 道路構造の保全率(橋梁): 橋梁の健全化を向上させるための割合。 (橋梁補修箇所数/橋梁補修必要箇所数) × 100%	70.0%	-	100.0%	上越市橋梁維持管理計画に基づく橋梁補修						
② 橋梁長寿命化計画における対策必要箇所数に対する対策完了箇所数の割合により計測する。	0.0%	-	100.0%	上越市橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁補修						
③ 市道の長大橋(橋長200m)以上の耐震対策が必要な橋梁数に対する対策完了橋梁数の割合により計測する。 (長大橋(橋長200m)以上の耐震対策が必要な橋梁数: 2箇所)	0.0%	-	100.0%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,715百万円	A	2,707百万円	B	百万円	C	8百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.3%

事後評価

○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
上越市(都市整備部道路課)	令和2年1月
	公表の方法
	上越市HP上にて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																			
A 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考	
											H25	H26	H27	H28	H29				
18-A1	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	修繕	(1)富岡木田線ほか(春日山橋、稲田橋)	橋梁修繕・耐震補強 N=2橋	上越市						1,079	策定済		
18-A3	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	修繕	(1)北本町春日山町線ほか	橋梁修繕 L=0.57km	上越市						121	策定済		
18-A4	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	修繕	(1)三交直江津五智環状線ほか	橋梁修繕 N=18橋	上越市						729	策定済		
18-A5	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	計画策定	橋梁長寿命化修繕計画策定	14.5a本線14.5a以上の橋梁の長寿命化計画の策定を行う	上越市						272	策定済		
18-A6	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	点検	道路ストックの総点検	道路ストックの総点検 N=6箇所	上越市						24	策定済		
18-A7	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	修繕	(1)三交直江津五智環状線ほか(竹ノ橋ほか)	橋梁修繕 N=37橋	上越市						127	策定済	H26補正含む	
18-A8	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	修繕	(他)大和三南中田線(高南橋)	橋梁架替 L=0.02km	上越市						50	策定済		
18-A9	道路	一般	上越市	直接	-	市町村道	修繕	(1)東中島三分一橋線ほか(三分一橋ほか)	橋梁修繕 N=9橋	上越市						305	策定済		
											合計						2,707		
B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考		
										H25	H26	H27	H28	H29					
											合計						0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考	

C 効果促進事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	個別施設計画 策定状況	備考
										H25	H26	H27	H28	H29			
18-C2	道路	一般	上越市	直接	-	点検	道路ストックの総点検	道路ストックの総点検	上越市						8		
										合計					8		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
18-C2	道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するため、道路ストックの総点検を実施し、健全度を把握するとともに、効率的・計画的な管理を行う。																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況							
I 定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況		・道路事業が促進され、道路機能の安全性の向上につながった。					
II 定量的指標の達成状況	指標①橋梁長寿命化計画に基づく橋梁補修の完了率を100%とする。	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	橋梁補修要対策箇所を着実に改善してきたことにより、最終目標値を達成している。（橋梁補修必要箇所32箇所、対策完了件数32箇所）。		
		最終実績値	100.0%				
	指標②橋梁長寿命化計画に基づく対策必要箇所数に対する完了率を00%とする。	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因		橋梁長寿命化計画に基づく対策（対策必要件数82箇所、対策完了件数58箇所）を実施してきたが、24橋が事業中のため、最終実績値が最終目標値を下回る結果となった。本計画期間内に目標値が達成できなかったため、引き続き次期計画で事業を実施し、事業完了を目指す。	
		最終実績値	70.7%				
	指標③長大橋（橋長200m）以上の耐震対策必要箇所数に対する完了率を100%とする。	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因			対象となる2橋（春日山橋、稲田橋）が事業中のため、最終実績値が最終目標値を下回る結果となった。本計画期間内に目標値が達成できなかったため、引き続き次期計画で事業を実施し、事業完了を目指す。
		最終実績値	0.0%				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)							
3. 特記事項（今後の方針等）							
<ul style="list-style-type: none"> 今後も道路事業を促進し、道路機能の安全性の向上を図る。 本計画期間内に完了しなかった事業については、引き続き次期計画で事業を実施し、早期に効果が発現するよう事業を促進する。 今後も定量的指標により事業効果の発現状況を計測していくとともに、そのほかの事業効果を評価するために計画変更時に別途新たな成果目標を設定することとする。 							

(参考様式3)

(参考図面) 活力創出基盤整備

